

県小学校外国語教育研究会

Step by Step

先生方の笑顔が学びの原動力

部会長 高橋 典子

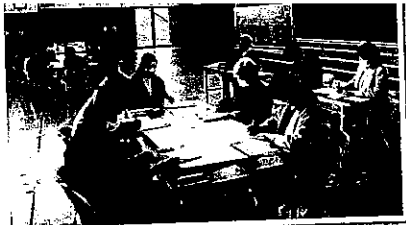


小学校に外国語教育が導入されて、かれこれ20年ほど経ちます。はじめは総合的な学習の時間の中で取り入れられるようになり、その後、2011年度からは5、6年生で外国語活動が始まり、2020年度からは3、4年生で外国語活動、5、6年生は教科になりました。この間、小学校では、どんなことを（内容）、どうやって（指導法）、誰が（指導者）教えるのか、常に試行錯誤を繰り返してきたように思います。他に先駆けて研究を行った学校では、教科書もなく、実践例も少ない中、カリキュラムを作るところから始めたわけですから、本当に苦労が多かったと思います。そのような中で研究を進める一番の原動力となったのは、先生方ご自身が英語を好きになり、英語でのコミュニケーションを楽しんでいると感じてくださったことではないかと思っています。外国語活動が導入されることが決まった頃の研修会で、講師の先生が「指導している先生が笑顔でいられなくなったら、そこで一旦授業をやめてもいい」とおっしゃったことを思い出します。当時、初めて英語を教えることになり相当の不安とプレッシャーを感じておられた先生方を安心させるための一言であったと思われませんが、英語に限らず、指導者自身も学ぶことを一緒に楽しめることは学習環境としてもとても大切なことだと感じます。

本研究会では、昨年度の全国大会を経て、各地区輪番で研究協議会を行うこととなり、今年度は西置賜地区で研究協議会を開催していただきました。外国語は教科化になって年数も浅く、県内での授業公開の機会も多いとは言えない中、長井市立平野小学校の素晴らしい授業実践を通して学び合う機会をいただけたことは大変意義深いことでした。この場をお借りして感謝申し上げます。また、今年度は理事会を対面で開催させていただき、各地区の理事の皆様からご意見を頂戴できましたことは、ありがたく大変心強いことでした。今後も、各地区の取組を共有する中で、児童が英語を好きになる楽しい授業、力の伸びる授業が広がっていくことを願います。そして、本研究会の活動が、授業をされる先生方の笑顔に少しでもつながることを目指し、取組を模索して参ります。

令和4年度 山形県外国語教育研究会役員名簿

会 長	高橋 典子 (山形市立蔵王第三小学校)				
副 会 長	菊地 一栄 (長井市立平野小学校)		齊藤 厚志 (天童市立長岡小学校)		
地 区 理 事	山 形	高橋 典子 (山形市立蔵王第三小学校)		米 沢	菊地 泰志 (米沢市立東部小学校)
		高橋 真樹 (山形市立第七小学校)			酒井 吉幸 (米沢市立南原小学校)
	上 山	佐藤 法子 (上山市立南小学校)		東置賜	竹田 洋 (川西町立大塚小学校)
		鈴木 未樹 (上山市立上山小学校)			涌井 拓未 (川西町立大塚小学校)
	東村山	齊藤 厚志 (天童市立長岡小学校)		西置賜	菊地 一栄 (長井市立平野小学校)
		鈴木康太郎 (天童市立長岡小学校)			渡部美千恵 (長井市立平野小学校)
	西村山	中野 直樹 (寒河江市立西根小学校)		田 川	渋谷 讓 (三川町立横山小学校)
	北村山	富樫 和浩 (村山市立大久保小学校)			渡邊 弘晶 (三川町立横山小学校)
佐藤 義紀 (村山市立富並小学校)		宮嶋 弘樹 (酒田市立黒森小学校)			
最 上	伊藤 道子 (真室川町立真室川あさひ小学校)		飽 海	菊池 裕史 (酒田市立西荒瀬小学校)	
顧 問	畠中 雄紀 (山形県教育センター)				
監 事	佐藤 法子 (上山市立南小学校)		渋谷 讓 (三川町立横山小学校)		
幹 事	佐藤 大将 (山形大学附属小学校)		海谷 真記 (山形市立楯山小学校)		
	新田亜紗恵 (山形市立村木沢小学校)				



山形地区

今年度計画していた6回の研修会を概ね予定通り行うことができました。特に、8月に山寺の外国語ガイドチーム、Yamaderansの方からお話をお聞きし、実際に英語のガイドで山寺を散策する体験型の研修を行ったことや、11月に桜田小学校において3年ぶりに授業研究会を行えたことは、会員の学びの深まりと情報交換の場として大変成果が大きかったと思います。そのほか、東北文教大学と共同で開催したオンライン研修会や、宮城教育大学の鈴木渉教授をお招きしての講演会、mextchannelを活用した協議なども行い研修を深めることができました。

上山地区

本地区では、今年度3回中2回を参集型の形で部会の活動を行うことができた。

<研修内容>

- ①6/8 ICT活用に係わる各校の授業実践の情報交換。
- ②7/28 外部講師を招いての講習会
『小中学校の連携について』
講師：山形大学 佐藤博晴 教授
- ③11/9 参集型は中止。動画視聴で市中学校英語暗唱大会。

小中学校で作成し活用しているCAN-DOリストを授業づくりの指標としながら、各校でICT機器を効果的に使用し、日々の授業改善に努めていきたい。



米沢地区

置賜教育事務所主催の研究會に参加し、市外からも参加された多くの小中の先生方と意見を交流し、授業づくりについて効果的な研修を行いました。

1. 研究授業

「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業」に係る研修協力校事業
第3回研究協議会との共催

2. 会場：米沢市立興讓小学校

3. 単元名：6年Unit7 My Best Memory

4. 指導者：上野孝明 教諭

5. 指導助言：山形大学地域教育文化学部 副学長 佐藤博晴 教授

6. 研究協議

OPDを毎時間有効活用することで、自分から調べようとする意識の高さが見られた。

▲ゴールを明確にし活動をシンプルにすることで、多くの達成感を味わわせた。



東置賜地区

1 今年度の取組

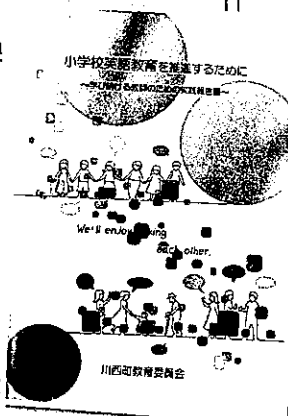
川西町では令和4年3月に発行した「小学校英語教育を推進するために～ 学び続ける教師のための実践報告書～」をもとに、町独自の英語教育推進委員会を立ち上げ授業実践を行ってきた。

2 推進委員会における実践

- (1) 実践についての情報交換
- (2) 教材研究
- (3) めあてと評価の一体化
- (4) 小中の連携推進など

3 成果

担当が戸惑うことなく、どの小学校でも楽しく、充実した英語の授業が実践された。



西置賜地区

◇一年間の事業内容

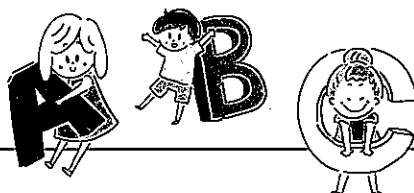
テーマ「Explore! 未来を切り拓く英語教育の推進～自ら学び仲間と高め合う授業の創造～」

活動内容 ①8月3日(水) 専門部研修会

- ・講話：「楽しい英語の授業づくり」
- ・講師：川西町立小松小学校 市川道子 先生
- ・内容：英語の授業づくりのポイントを、自身の実践を基にしてわかりやすく丁寧に話いただき、明日からの授業に大いに役立つ研修だった。

②11月25日(金) 県小学校外国語教育研究協議会

- ・県小学校外国語教育研究協議会西置賜大会を兼ねた平野小学校の公開研究会の授業参観と事後研究会に参加し、授業を通して英語授業の進め方の実際を学ぶことができた。



東村山地区

小中連携研修会 3回実施

◆第1回 6月22日(水)

テーマ「教科書をどう使いこなすか」

講師:東京書籍英語編集部 城戸彩子氏

◆第2回 8月3日(水)

テーマ「小学校英語の今を学ぶ」

講師:宮城教育大学 教授 鈴木 渉氏

◆第3回 11月9日(水)

テーマ「小中連携による

英語指導についての研究協議」

・デジタル教科書活用実践事例発表

・実践交流及び研究協議

前半…小中学校間の実践交流

後半…同校種での実践交流



西村山地区

Unit5 We all live on the Earth.

地球に暮らす生き物について考え、つながりを発表するという学習で、興味を

もった生き物についてタブレット端末で調べた。調べた生き物について「私のセリフ」を書き、パワーポイントで生き物の写真や食べるものの写真を使って、発表のための資料にまとめた。

次に、グループごとにクイズ形式で資料を見せながら、「Where do ~ live?」などと尋ね、聞き手が英語で答えるという活動を行った。英語が苦手な児童も、写真などの資料を見ながら主体的に挙手して答えることができた。グループを入れ替えて何度か行ったことで、話す聞く学習がより深まった。

北村山地区

令和6年度県外研協議会北村山地区開催に向けて、今年度は外国語教育の動向や授業づくりについて互いの研修を深めました。

開催日:令和4年11月8日(参加者23名)

会場:村山市立大久保小学校

講演Ⅰ

演題*小学校外国語教育の指導改善に向けて
県教育センター 指導主事 畠中 雄紀氏

講演Ⅱ

演題*小学校外国語授業の実践研究より
山形大学附属小学校 教諭 佐藤 大将氏

来年度はプレ年度。研究発表予定校の研究を中心に、会員相互に外国語教育の在り方についてさらに研究を深めていく予定です。

最上地区

本地区では、県教育委員会主催の外国語公開授業研究会に共催という形で

参加し、研修を行いました。

授業を通して、必然性(目的意識)があり、コミュニケーションの楽しさが感じられる単元構成や授業の展開について、研修を深めることができました。

授業者:新庄市立本合海小学校

第6学年 伊藤 大地 教諭

単元名:Unit6 「This is my town.」

助言・指導:

「言語活動を通じた指導の充実に向けて」

CALAインターナショナル代表 阿部フォード恵子氏



田川地区

田川地区は大きく2つの事業を行いました。夏季休業中の7月27日には鶴岡市教育委員会指導主事本間 紘先生と山形大学附属小学校教諭 佐藤大将先生の二人を講師として招聘し授業づくり研修会を開催しました。庄内地域一円から44名の参加があり、参会者が子ども役になり充実した言語活動の体験と理論について学び合いました。また、2月2日には朝暘第一小学校の児玉里緒教諭が5年外国語科の授業を行い、事後研究会では言語活動を充実させる手立てについて熱く語り合いました。

令和5年度の外国語教育研究会地区協議会は田川地区で開催になります。多く先生に参加していただけることを楽しみにしています。

飽海地区

■令和4年9月15日(木)

【場所】酒田市総合文化センター

【内容】ALTがタブレットを使った活動を紹介

○酒田市のATLより「Googleスライド」「ロイロ」等を使ったタブレットを使用したアクティビティーや「振り返りシート」などALTのデータを共有できた。

■令和4年12月6日(火)

【場所】酒田市立平田小学校

【内容】3年生の外国語活動(Let's Try Unit8 What's this?)
授業研究会

○佐藤穂奈美先生の3ヒントとWhat's this?を使い、身の回りのものクイズで英語に慣れ親しむ授業。先生の学級経営に支えられた、子どもが笑顔で英語を楽しめる授業。



第3回 山形県小学校外国語教育研究協議会 〈西置賜大会〉

長井市立平野小学校 校長 菊地 一栄

「よりよく伝え合うために考え、工夫し、実践する子どもの育成」を研究主題として、11月25日(金)、長井市立平野小学校を会場に、第3回山形県小学校外国語教育研究協議会西置賜大会を開催いたしました。

当日は西置賜地区のみならず、県内各地より総勢70名を超す参加者があり、1年、4年、5年の3クラスの公開授業と事後研究会を行いました。オンラインではなく実際に参集しての研究会を行うことに多少の不安はありましたが、本校職員のこれまでの授業づくりの成果を肌で感じていただきたい、という強い思いで開催させていただきました。参加いただいた皆様からも、実際の授業を観ることができとても参考になった、という多くの声をいただき、実施できたことをうれしく思っています。今回公開した各授業の概要については以下のとおりです。紙面の都合上、1年、4年の授業についてお示します。

公開授業①

- 授業学年 1年
- 題材名「クリスマスパーティーをしよう」(学活)
- 授業者 山口 亜梨紗 教諭
- 授業の概要

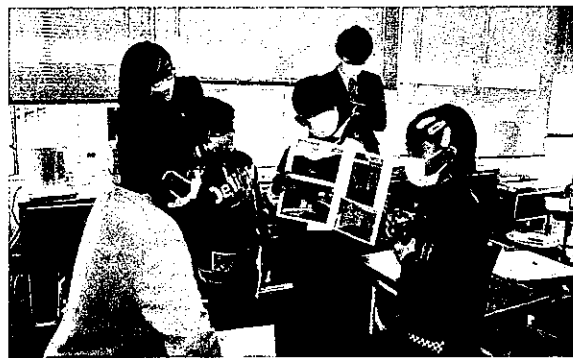
本校では、英語を通してコミュニケーション能力とよりよい人間関係を築くことをねらいとして、1・2年生も年間5時間の英語の活動を、学級活動として取り組んでいます。授業では、学級でクリスマスパーティーを開くために飾りつけのオリジナルリースをつくること、を目的に、担任やALTと英語で関ること、できあがったリースをみんなに紹介すること、を活動としました。子どもたちは、自分の思い込めたリースをつくるために、積極的に担任やALTと関ること、また、友だちどうしでも活発な教え合いをすることができました。英語を使って相手に自分の思いを伝えようとする姿がみられた授業でした。



公開授業②

- 授業学年 4年
- 題材名「お気に入りの場所を紹介しよう」
- 授業者 戸田 彩 教諭
- 授業の概要

4年生の授業は、総合的な学習の時間に取り組んだ「平野のよさを調べる」活動でまとめたことをALTの先生方に紹介し、平野のよさを知ってもらうこと、を目的として授業を行いました。長井市は各小中全学校にそれぞれに1名のALTを配置いただいております。全ALTが一堂に会して授業を行う「AL Talk Day」という活動をしています。授業では、ALTに長井のよさを知ってもらうために、タブレットを活用したりしながら、よりよく伝えようとする子どもたちの姿がみられました。



◆おわりに◆

外国語の授業研究に取り組んで再確認したことは、「外国語の授業は、外国語でやるから楽しい」「自分の思いや考えが相手に伝わることって楽しい」「友だちと関りながら学ぶって楽しい」ということです。そのためには、明確な目的・場面・状況設定が大切であり、外国語授業教材研究の出発点でなければならない、ということです。

公開研究会を行うということで職員に大きな負担をかけることは十分承知していますが、本校は若手教員が多く、教員の成長にとって大きなチャンスをいただいたものにとらえ、そして、何よりも、子どもたちにとっても、確かな力をつけさせることができるよい機会である、という教職員の共通理解のもと実践に取り組んで参りました。今回の研究協議会で得た成果を十分に生かし、これからも外国語教育を研究の柱として、研究実践に取り組んで参りたいと思います。ご参加いただいた皆様に対し、心より御礼申し上げます。